

新たな審議課題について

現在の課題について

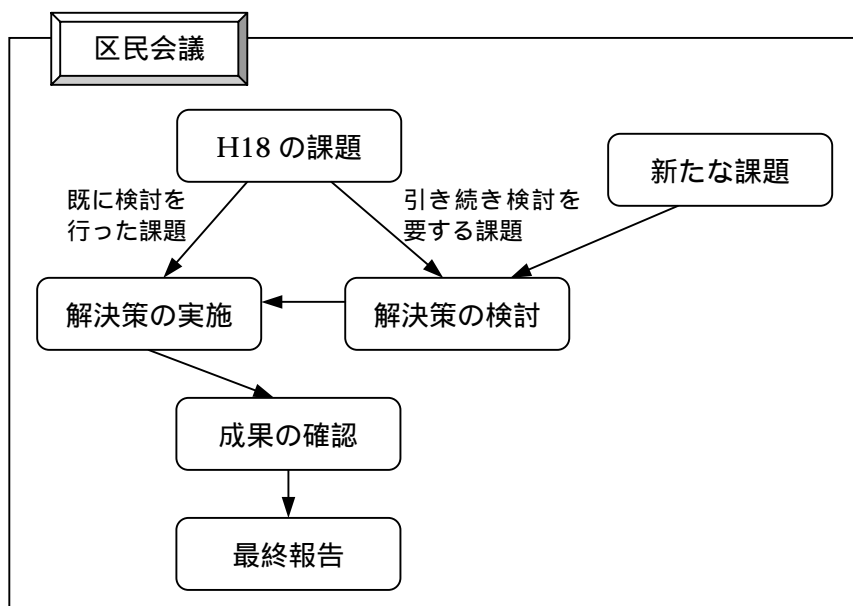
平成18年度の3回にわたる調査審議の結果を中間報告として取りまとめたが、実行に移された解決策については今後、取組状況や成果を確認し、任期終了に合わせて区長に提出する最終的な取りまとめの中で報告することとする。

また、引き続き検討する解決策は、実現性、実効性、費用等と見込まれる効果を比較考量して実行可能な取組を検討し、課題解決につなげていくこととする。

中間報告においては、平成19年度の調査審議にあたり、平成18年度の課題で一定の進捗をみたものについては、改めて調査審議の継続を検討することとされている。また、これと併せて地域課題が山積する中で、高津区の地域バランス等も考慮した新たな課題の把握と解決策の確認を行うこととし、とりわけ、橘地区の歴史、農、自然などの地域資源を活かした魅力ある地域づくりなど、新たな課題の把握と解決策の検討を行い、暮らしやすい地域社会の実現に努めることとされている。

現在の、「子ども・子育て支援」、「放置自転車問題」、「安全・安心のまちづくり」の3課題のうち、「子ども・子育て支援」、「放置自転車問題」については、各課題ともに、解決に向けた取組が確認され、課題解決に向けた一定の進捗がみられるため、一旦、審議終了とし、必要に応じて、調査審議を行うこととする。「安全・安心のまちづくり」については、これまで十分な審議時間を確保することもできず、中間報告においても「引き続き検討する解決策」とされた事項も多くあるため、今年度も継続して審議を行うこととする。

今後の展開イメージ（「中間報告書」28ページから）



新たな課題(案)について

中間報告においては、その「今後の展開」において、特に橘地区の歴史、農、自然などの地域資源を活かした魅力ある地域づくりなどについて指摘されていたが、平成18年度当初においても、課題の選定に関する事前調査において、「緑地保全・緑化推進の問題」が、現在の3課題に次いで、多くの意見が寄せられていたことも踏まえ、橘地区の環境資源等を活かした循環型のまちづくり、環境問題などについて、新たな課題とし、調査審議を進めることとする。

新たな課題に関する論点のイメージ

- ・環境まちづくり
- ・緑地保全・緑化推進
- ・環境資源のネットワーク化
- ・橘地区の歴史、農、自然などの地域資源を活かした魅力ある地域づくり
- ・地産地消の推進
- ・「農のある風景」づくり
- ・3R活動など循環型社会の構築に向けた取組
- ・地球温暖化対策に向けた地域からの取組
- ・学校ビオトープのモデル整備
- ・区総合庁舎の「エコシティホール化」
- ・コミュニティファンドの活用 など